

# 2024年度上期の業績と年間の見通し

社長 井上 治

住友電気工業株式会社

2024年11月13日

# 目次

## 1. 2024年度上期の業績

1. 連結業績概要
2. 上期業績推移
3. セグメント別売上高・営業利益

## 2. 2024年度年間の見通し

1. 事業環境サマリー
2. 連結業績予想
3. 通期業績推移
4. セグメント別売上高・営業利益

## 3. 各セグメントの状況と取組み

1. 環境エネルギー
2. 情報通信
3. 自動車
4. エレクトロニクス
5. 産業素材

## 4. トピックス

1. 欧州電力ケーブル
2. 産業素材

## 5. 企業価値向上に向けて

1. ROIC改善の取組み
  - － 1. 収益力向上に向けた取組み
  - － 2. 資産効率改善の取組み
2. キャッシュ創出力向上
3. セグメント別ROIC
4. 五方よし  
(マルチステークホルダーキャピタリズム)
5. 株主還元・配当

## (ご参考)

- ・設備投資計画
- ・営業利益の増減益要因
- ・株価推移
- ・上期業績推移（セグメント別）
- ・通期業績推移（セグメント別）

# 1. 2024年度上期の業績

# 1 - 1. 連結業績概要

億円	22年度上期 実績	23年度上期 実績	24年度上期 予想	24年度上期 実績	前年同期比 増減率
売上高	18,911	20,721	22,600	<b>22,478</b>	+8%
営業利益	497	673	1,060	<b>1,193</b>	+77%
経常利益	609	608	1,070	<b>1,217</b>	+100%
親会社株主に帰属する 中間純利益	351	267	550	<b>758</b>	+184%
配当（円 / 株）	25	25	36	<b>36</b>	

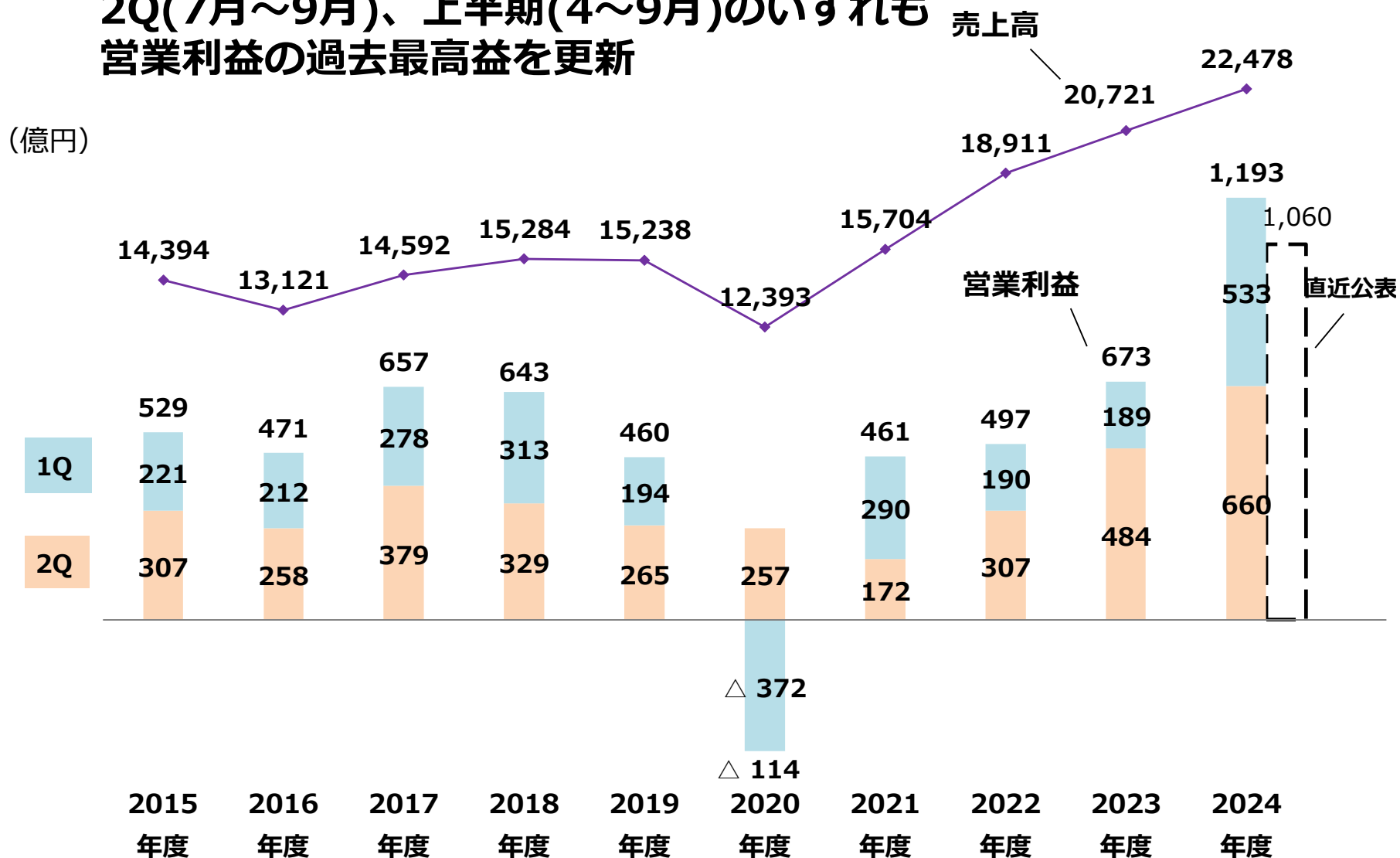
ワイヤーハーネス、電力ケーブル、光デバイスなどの売上が増加したほか円安の影響もあり、売上高は**前年同期比8%増収、上半期の過去最高を更新**。

営業利益は、増収に加えて、徹底したコスト低減と売値改善に取り組んだ結果、**前年同期比77%増益、上半期として過去最高益を更新**。

純利益も大幅増益。14年度上期(大口特別利益あり)に次ぐ過去2番目の水準。

# 1-2. 上期業績推移

2Q(7月~9月)、上半期(4~9月)のいずれも  
営業利益の過去最高益を更新



# 1-3. セグメント別売上高・営業利益

全ての事業セグメントで、前年同期を上回る売上高、営業利益を確保。

8月公表予想対比でも、産業素材他を除く4つのセグメントが公表利益を達成。

億円	2023年度 上期 実績 ①		2024年度 上期 直近公表②		2024年度 上期 実績 ③		前年同期比 ③-①		直近公表比 ③-②	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
環境エネルギー	4,487	122	5,300	240	<b>5,164</b>	<b>315</b>	+676	+193	△ 136	+75
情報通信	1,024	△ 8	1,100	30	<b>1,036</b>	<b>49</b>	+12	+57	△ 64	+19
自動車	12,146	323	13,000	530	<b>13,054</b>	<b>550</b>	+908	+227	+54	+20
エレクトロニクス	1,755	145	1,900	150	<b>1,915</b>	<b>182</b>	+160	+38	+15	+32
産業素材他	1,799	90	1,800	110	<b>1,857</b>	<b>95</b>	+58	+6	+57	△ 15
合計	20,721	673	22,600	1,060	<b>22,478</b>	<b>1,193</b>	+1,757	+520	△ 122	+133

※ 各セグメントを足し合わせた数値と、合計欄の金額の差は連結消去

## 2. 2024年度年間の見通し

## 2-1. 事業環境サマリー

中東情勢などの政治的・地政学的リスクの一層の高まりや、中国・欧州経済の停滞などにより、景気下振れが懸念されるが、

- ✓ 脱炭素社会の進展が継続、エネルギーインフラ・再エネ投資活況
- ✓ 生成AI拡大に伴いデータセンター事業者の設備投資が増加
- ✓ 自動車は、足元は中国・欧州を中心に需要減が見込まれるが、CASE進展もあり、中長期的な成長期待は変わらず

当社にとっての事業機会は、今後一層の拡大が見込まれる状況



**上期実績及び今後の見通しを踏まえて、利益予想を上方修正**

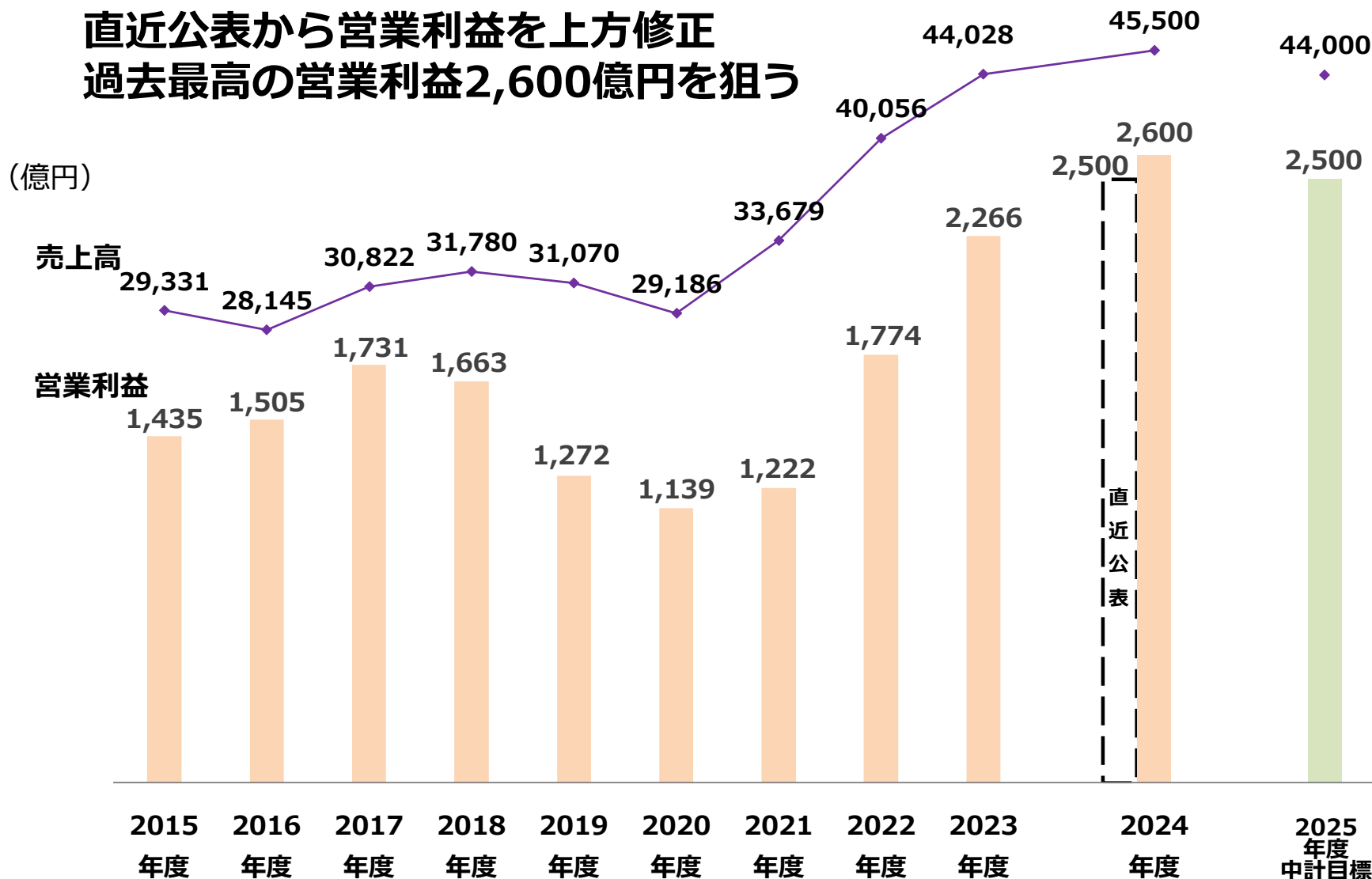


## 2-2. 連結業績予想

	2023年度 実績①	2024年度 直近公表②	2024年度 今回見直し③	前期比 ③-①	直近公表比 ③-②
売上高 億円	44,028	46,000	<b>45,500</b>	+1,472	△500
営業利益	2,266	2,500	<b>2,600</b>	+334	+100
経常利益	2,153	2,430	<b>2,550</b>	+397	+120
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,497	1,450	<b>1,500</b>	+3	+50
配当 (円/株)	77	72	<b>77</b>		
		(2Q以降前提)	(下期前提)		
米ドル	145円	145円	145円		
ユーロ	157円	155円	155円		
銅建値	1,262千円	1,400千円	1,350千円		

## 2-3. 通期業績推移

直近公表から営業利益を上方修正  
過去最高の営業利益2,600億円を狙う



## 2-5. セグメント別売上高・営業利益

上期実績及び足元の事業環境を踏まえて、セグメント別の予想を見直し。環境エネルギーと自動車は、中期経営計画25Mの目標値を上回る見込み。

億円	2023年度 実績①		2024年度 直近公表②		2024年度 今回見直し③		前期比 ③-①		直近公表比 ③-②	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
環境エネルギー	9,800	429	11,300	560	<b>10,900</b>	<b>610</b>	+1,100	+181	△400	+50
情報通信	2,061	△116	2,400	110	<b>2,300</b>	<b>150</b>	+239	+266	△100	+40
自動車	25,964	1,447	26,100	1,310	<b>26,000</b>	<b>1,370</b>	+36	△77	△100	+60
エレクトロニクス	3,565	293	3,600	230	<b>3,600</b>	<b>230</b>	+35	△63	0	0
産業素材他	3,642	211	3,700	290	<b>3,700</b>	<b>240</b>	+58	+29	0	△50
合計	44,028	2,266	46,000	2,500	<b>45,500</b>	<b>2,600</b>	+1,472	+334	△500	+100

※ 各セグメントを足し合わせた数値と、合計欄の金額の差はセグメント間消去

# 3. 各セグメントの状況と取組み

# 3 - 1. 環境エネルギー

## 事業環境

- 脱炭素社会の進展が継続。  
エネルギーインフラ、再エネ関連の投資が活況で、高圧電力ケーブル・受変電設備の需要が引き続き堅調。
- 電動車用モータ平角巻線の需要拡大。

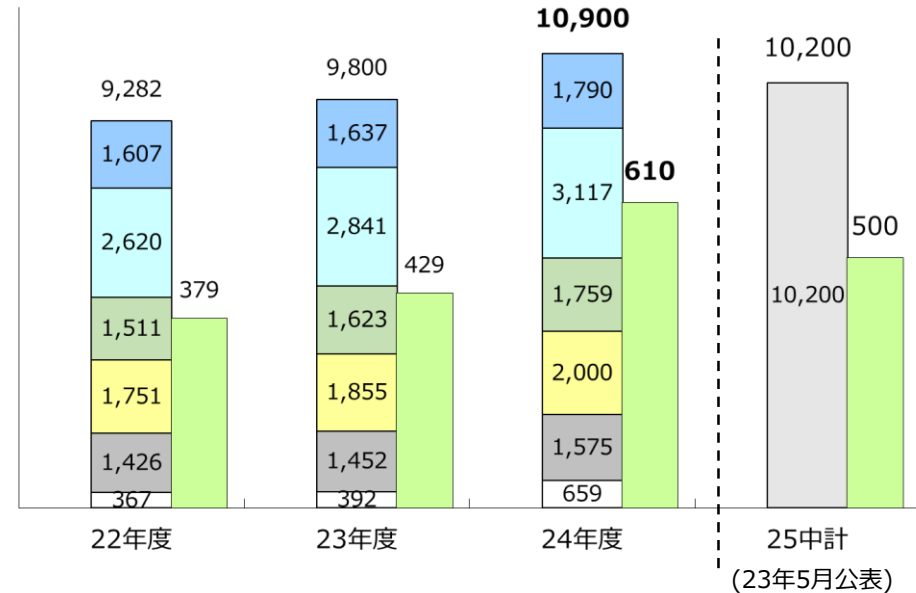
## 取組み事項

- ✓ 電力ケーブル(連系線、風力発電他)の受注拡大、生産能力増強、コスト低減、品質向上、新製品開発、プロジェクトマネジメント強化
- ✓ 電動車向けモーター用平角巻線のコスト低減、次世代品開発
- ✓ 日新電機との更なるシナジー創出

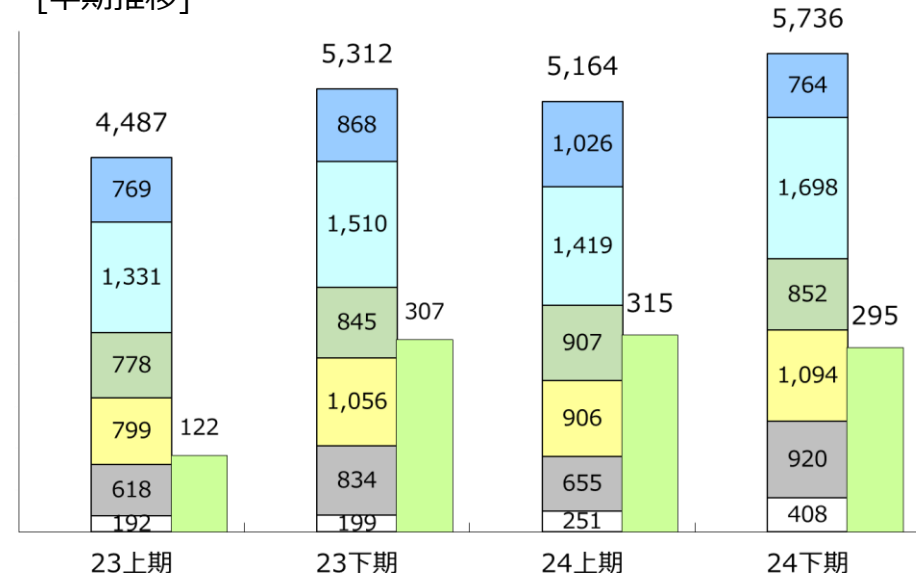
[年度推移]

左：売上高 右：営業利益（億円）

■ 導電 ■ 電力 ■ 機電 ■ 住友電設 ■ 日新電機 □ 他



[半期推移]



# 3-2. 情報通信

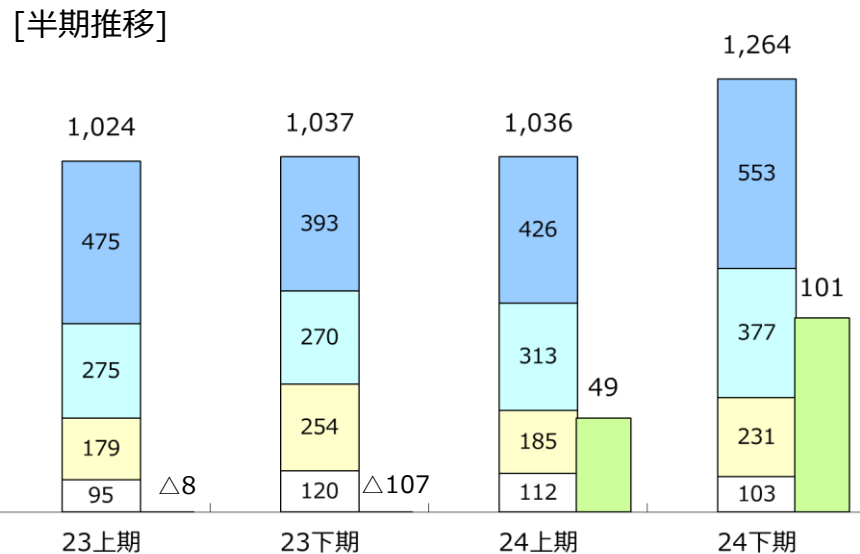
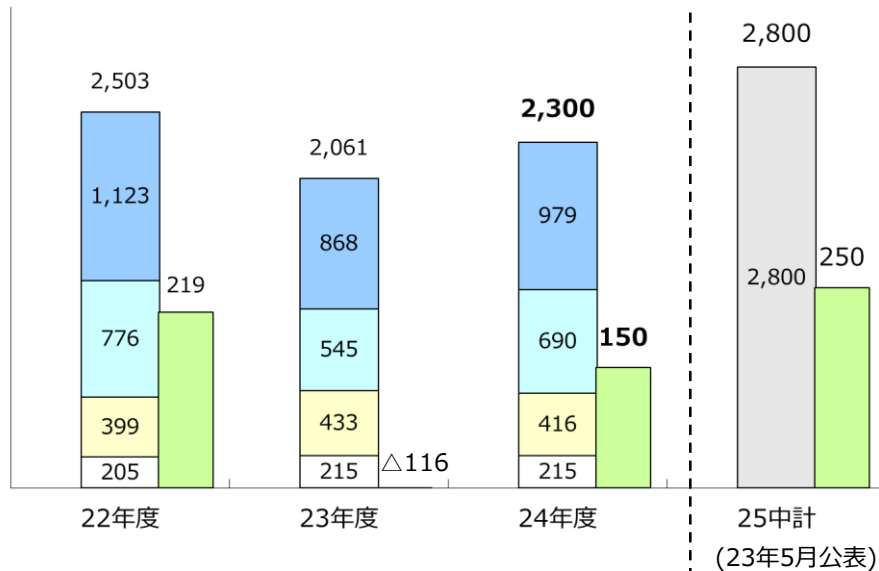
## 事業環境

- 生成AI拡大に伴いデータセンター事業者の投資が増加。光デバイス、光配線部材の需要が増加。
- 通信事業者の投資回復は期初想定よりも遅れており、光ファイバや基地局用GaNデバイスは期初想定を下回る見通し。

## 取組み事項

- ✓ データセンター関連製品(光デバイス・コネクタ・ケーブル他)の新製品開発、生産能力増強、拡販
- ✓ 海底ケーブル用極低損失・大容量光ファイバの開発・拡販
- ✓ 高効率なGaNデバイス開発・拡販

[年度推移] 左：売上高 右：営業利益（億円）  
 ■ 光通信・光機器 ■ 伝送デバイス ■ ブロードネットワークス □ 他



# 3-3. 自動車

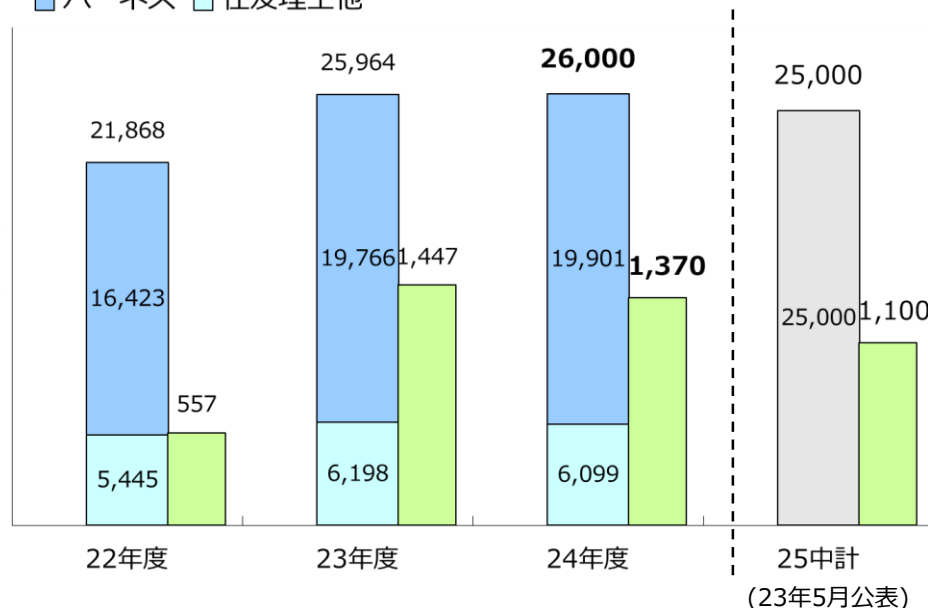
## 事業環境

- 中国での日系自動車メーカー減産や欧州の景況感悪化に伴い、ワイヤーハーネスの需要見通しは当初想定を下回る見通し。
- 足元ではEV減速の動きがあるが、中期的なCASE進展の方向性は変わらず。

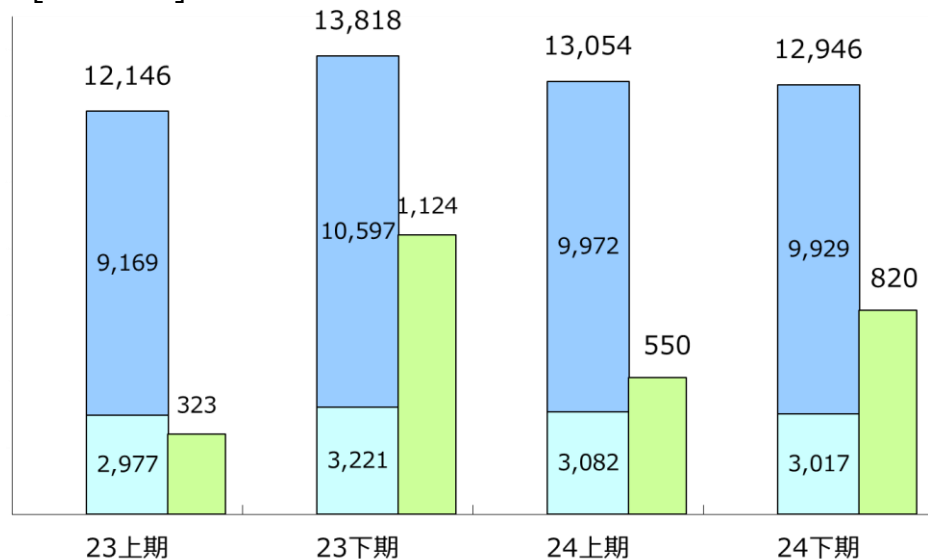
## 取組み事項

- ✓ 事業体質の強化  
(コスト低減・資産効率向上)
- ✓ 生産レイアウトの最適化
- ✓ 新設計・新工法の拡充など  
従来ハーネスの進化
- ✓ CASEの新製品創出・拡販

[年度推移] 左：売上高 右：営業利益（億円）  
■ ハーネス □ 住友理工他



[半期推移]



# 3-4. エレクトロニクス

## 事業環境

- FPCは、主要顧客向け需要が堅調。受注が特に上期に集中。
- 電子ワイヤーは、EV減速などにより、期初想定を若干下回る見通しも、医療、航空宇宙など新規分野で拡大を図る。

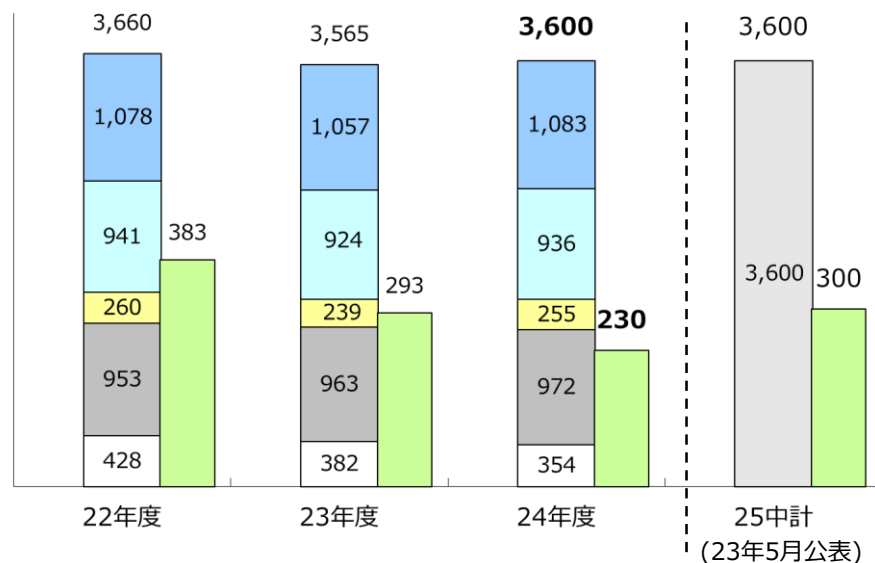
## 取組み事項

- ✓ FPCのコスト低減、高機能品拡販
- ✓ FPCの車載・医療用途の拡販、高周波化に対応した新製品開発
- ✓ EV電池端子用リード線（タブリード）  
・車載用電線の拡販
- ✓ 熱収縮チューブの自動車/航空分野シェア拡大、新規分野（医療・インフラ）拡販
- ✓ テクノアソシエとの更なるシナジー創出

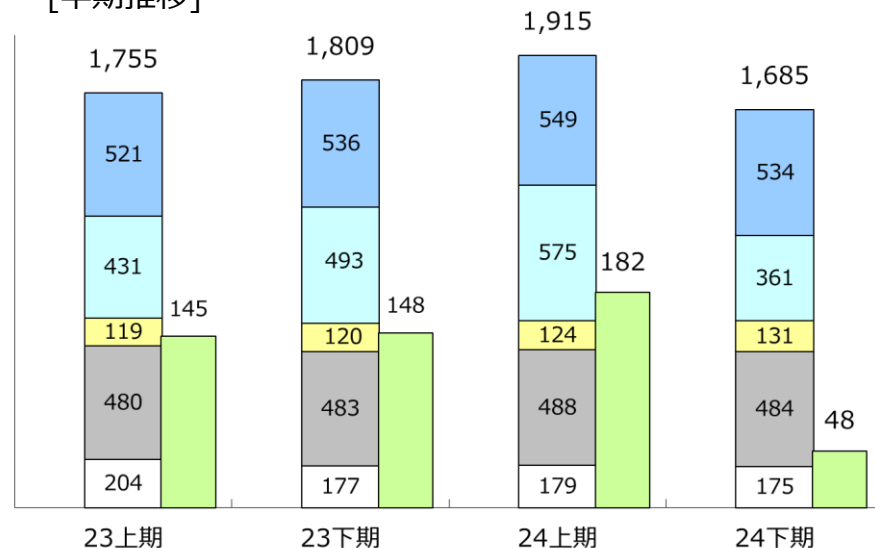
[年度推移]

左：売上高 右：営業利益（億円）

■ 電子ワイヤー ■ FPC ■ ファインポリマー ■ テクノアソシエ □ 他



[半期推移]





# 3-5. 産業素材

## 事業環境

- 超硬工具は、自動車向けが低調で期初想定に及ばない見通しも、半導体向けでは回復が緩やかに進む見込み。
- 電動車、航空機、半導体関連、再エネなどの新規市場が拡大。

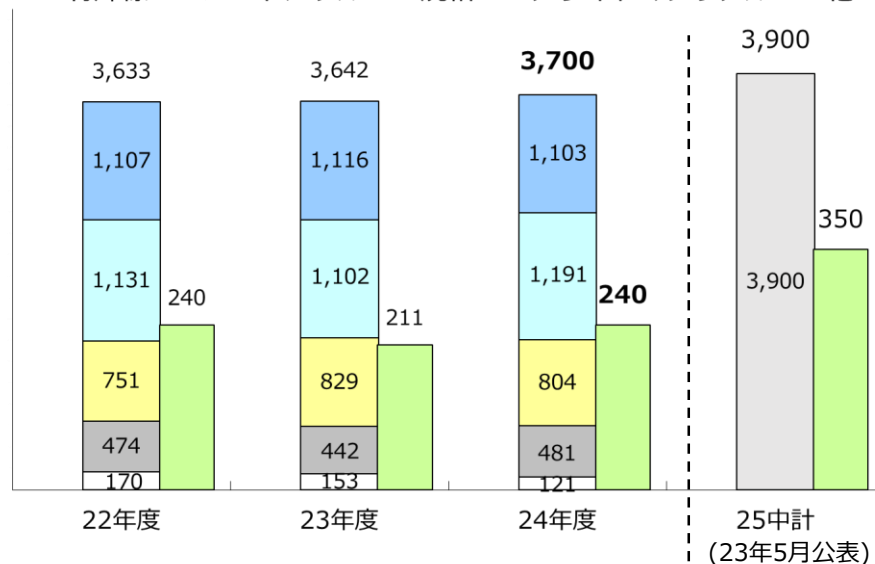
## 取組み事項

- ✓ 超硬工具のグローバルな拡販と電動車・航空機・半導体・再エネなどの新規市場開拓、市場シェア拡大
- ✓ 焼結部品の電動車・非車載向けの新製品開発・拡販、生産体制見直し・コスト競争力強化
- ✓ PC鋼材・ばね用鋼線の製造販売体制強化、新製品開発による収益力向上

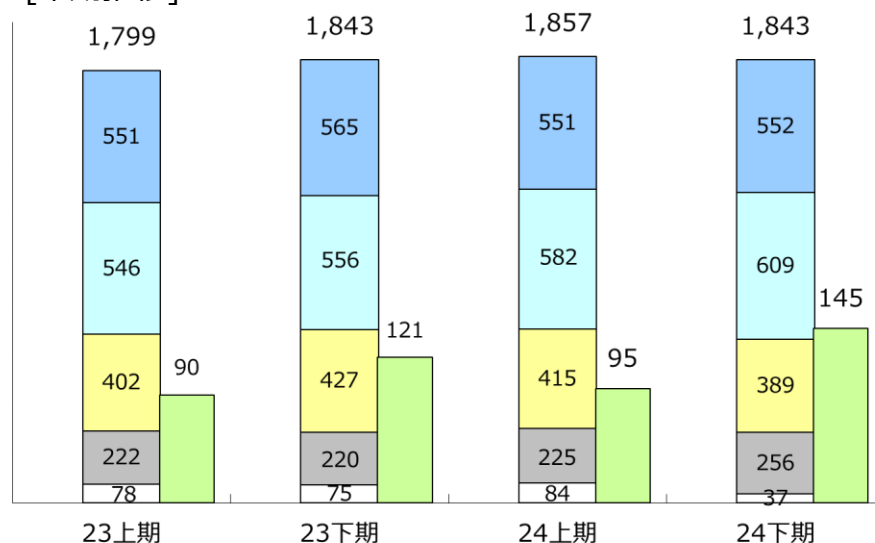
[年度推移]

左：売上高 右：営業利益（億円）

■ 特殊線 ■ ハードメタル ■ 焼結 ■ アライドマテリアル □ 他



[半期推移]



# 4. トピックス

# 4-1. トピックス（欧州電カケーブル）

## ドイツ送電会社向け大型直流XLPEケーブルプロジェクト受注

（2024年6月プレスリリース）

ドイツ送電事業者Amprion社から、525kV高圧直流(HVDC) XLPEケーブルプロジェクト「Korridor B V49」を受注しました。

また、同社の連系線プロジェクト「ラインマイリンク」の一部のケーブル供給について優先交渉契約を締結しました。

両案件は北海の洋上風力電源からドイツ南部への送電を担う大型プロジェクトで、完工時期は2033年予定です。

本受注に伴い、ドイツ国内に製造拠点を確保するため、陸上ケーブルメーカーSüdkabel社を買収、本年10月に子会社化しました。今回受注したケーブルは、Südkabel社で製造する予定です。



A-Nord : 2020年にAmprion社より受注し現在製造中の高圧直流ケーブルプロジェクト

## 4-2. トピックス（産業素材）

# 当社の完全子会社の(株)アライドマテリアルが 精密ダイヤモンド工具の大手メーカー Estevesグループを買収

(2024年9月プレスリリース)

### 【Estevesグループ概要】

世界の電線・ケーブル業界向けの精密  
ダイヤモンド工具の大手メーカー。  
伸線ダイス、押出工具、特殊工具を含む  
製品ポートフォリオを有する。  
100年以上の歴史を持ち、欧米亜6ヶ国に  
戦略的に展開。

### 【買収の狙い】

アライド・Estevesの両社が持つ  
ダイヤモンドダイスの製品ラインナップ、  
技術力、販売網、サービス拠点を活用  
することで、欧米への販路拡大をはじめ、  
グローバルでの事業展開を一層強化。



### ダイヤモンドダイス

ダイヤモンドを使用した、ワイヤー等の線材を伸線するための工具。  
ダイヤモンドは非常に硬く、摩耗に強いいため、高品位・長寿命であり、  
精密な加工が要求される金属や材料の加工に最適です。

# 5. 企業価値向上に向けて

# 5. 企業価値向上に向けて 中期経営計画2025



脱炭素社会の進展

情報化社会の進化

with/afterコロナ社会

国際社会の分断・不安定化

2022年度  
(実績)

売上高 : 4.0兆円  
営業利益 : 1,774億円  
税引前ROIC : 6.6%

2025年度

売上高 : 4.4兆円  
営業利益 : 2,500億円  
税引前ROIC : 8%以上

2030年度  
(2030ビジョン)

売上高 : 5兆円以上  
税引前ROIC : 10%以上

# 5. 企業価値向上に向けて

中期経営計画2025で掲げた成長戦略と基盤強化に取り組み、成長性と効率性を追求し、持続的な企業価値向上を目指す

## 成長性

30V目標

注力3分野で1兆円以上の売上拡大

注力3分野：エネルギー・情報通信・モビリティ

25M目標

成長テーマで売上 4,000億円拡大

(22年:7,000億円→25年:1兆1,000億円)

エネルギー

連系送電線・系統用蓄電池  
再生可能エネルギーネットワーク  
環境配慮型送配電・省エネ設備

情報通信

大容量・低遅延通信ネットワーク  
データセンター関連設備  
次世代情報端末・通信機器

モビリティ

電動車向け部材・軽量化素材  
安全支援・自動運転システム  
交通・エネルギーインフラ連携

## 効率性

30V目標 税引前ROIC 10%以上

25M目標 税引前ROIC 8%以上  
ROE 8%以上

効率性を追求して、最大限にキャッシュを創出

**EBITDD 1.6兆円/3年間の創出**

EBITDD：営業利益+減価償却費+研究開発費

# 5 - 1. ROIC改善の取組み

効率性向上に向けて、ROICを最重要指標に設定し改善に取り組む

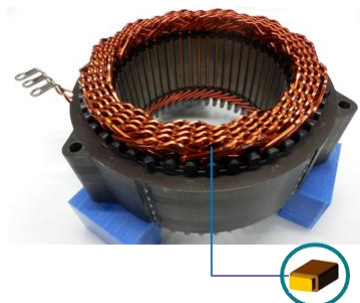
ROICツリー項目		重点取組事項
収益力 向上	営業利益率改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>高付加価値化による収益性向上</u></li> <li>・ 革新的技術・製法の追求</li> <li>・ 受注採算改善</li> </ul>
	金利負担削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有利子負債削減(財務体質の健全化)</li> </ul>
資産効率 改善	B S 全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門別 B / S ・ フリー C F 管理強化</li> <li>・ <u>政策保有株式見直し</u></li> </ul>
	C C C (運転資産改善)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>棚卸残高・保有日数の適正化</u></li> <li>・ <u>債権・債務の残高・保有日数の改善</u></li> </ul>
	有形固定資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備投資マネジメント (投資確度向上と投資予算運営の強化)</li> </ul>



# 5-1-1. 収益力向上に向けた取組み

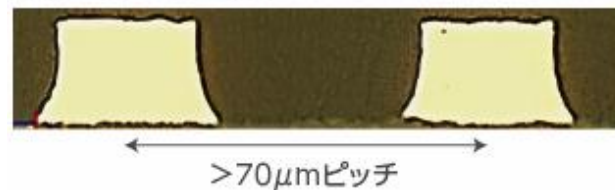
**高付加価値化** 「事業の新陳代謝」に取り組み、高付加価値化を追求

**巻線** 電動車の高性能化、軽量化に寄与する「平角巻線」に注力

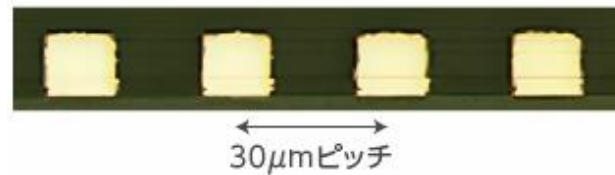


**FPC** 微細回路形成技術を活かした高付加価値品に注力

既存エッチング工法



セミアディティブ工法



**情報通信** データセンター関連製品を強化

データセンタ向け光ケーブル

超多心  
光ケーブル

圧送用高密度  
光ケーブル



**ワイヤーハーネス**

電動化・コネクティッドに寄与する新製品の拡大

**超硬工具**

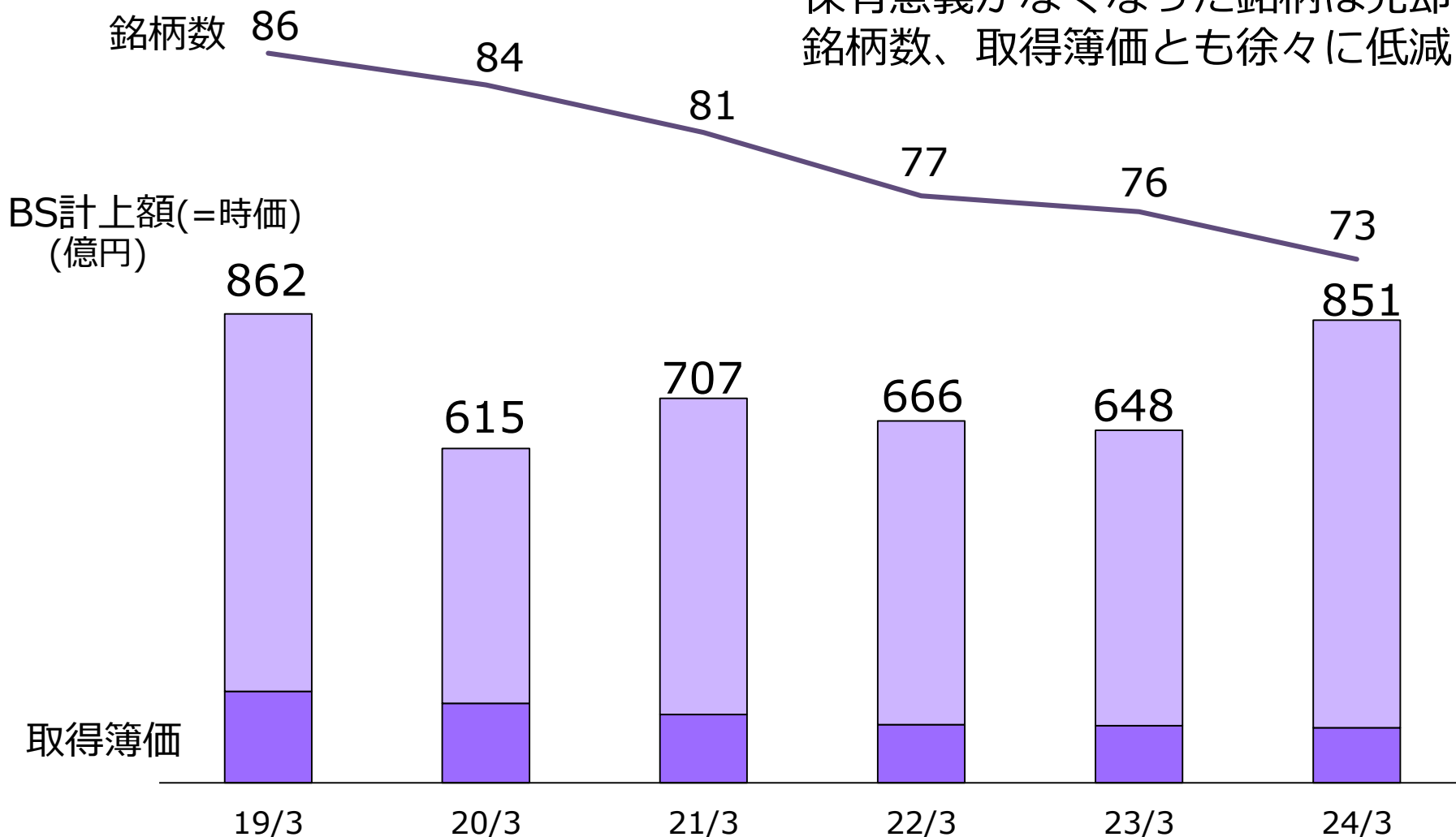
航空機用途向け工具  
風力発電部品用工具など新製品投入

## 5-1-2. 資産効率改善の取組み

### 政策保有株式

### 【従前の取組】

毎年、保有意義を精査  
保有意義がなくなった銘柄は売却  
銘柄数、取得簿価とも徐々に低減



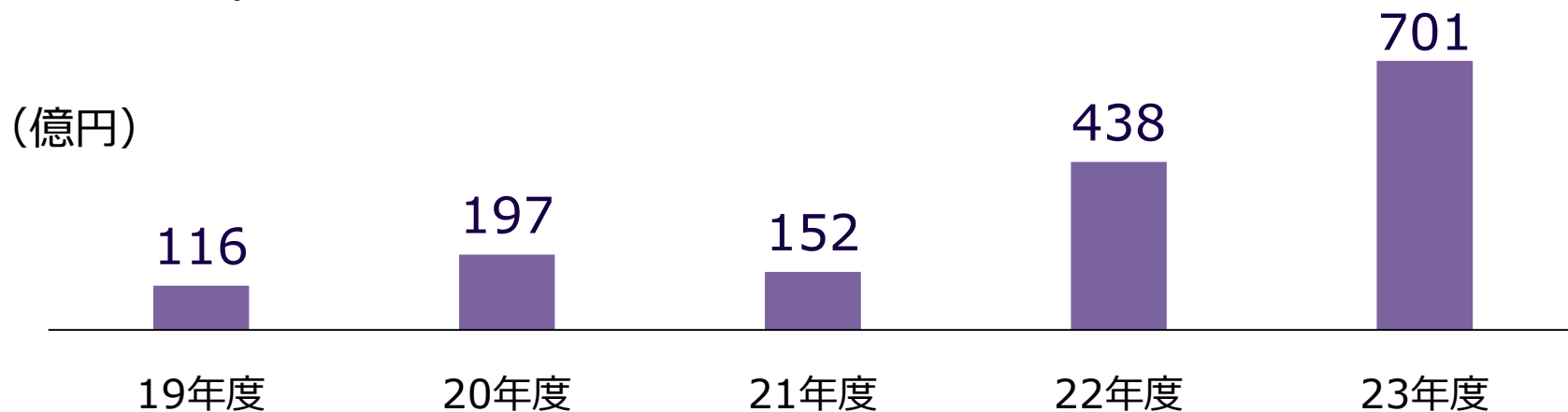
(有価証券報告書記載の当社保有分)

## 5-1-2. 資産効率改善の取組み

### 投資有価証券売却額

22年度、23年度は大口売却を実施

(連結ベース)



### 今後の方針

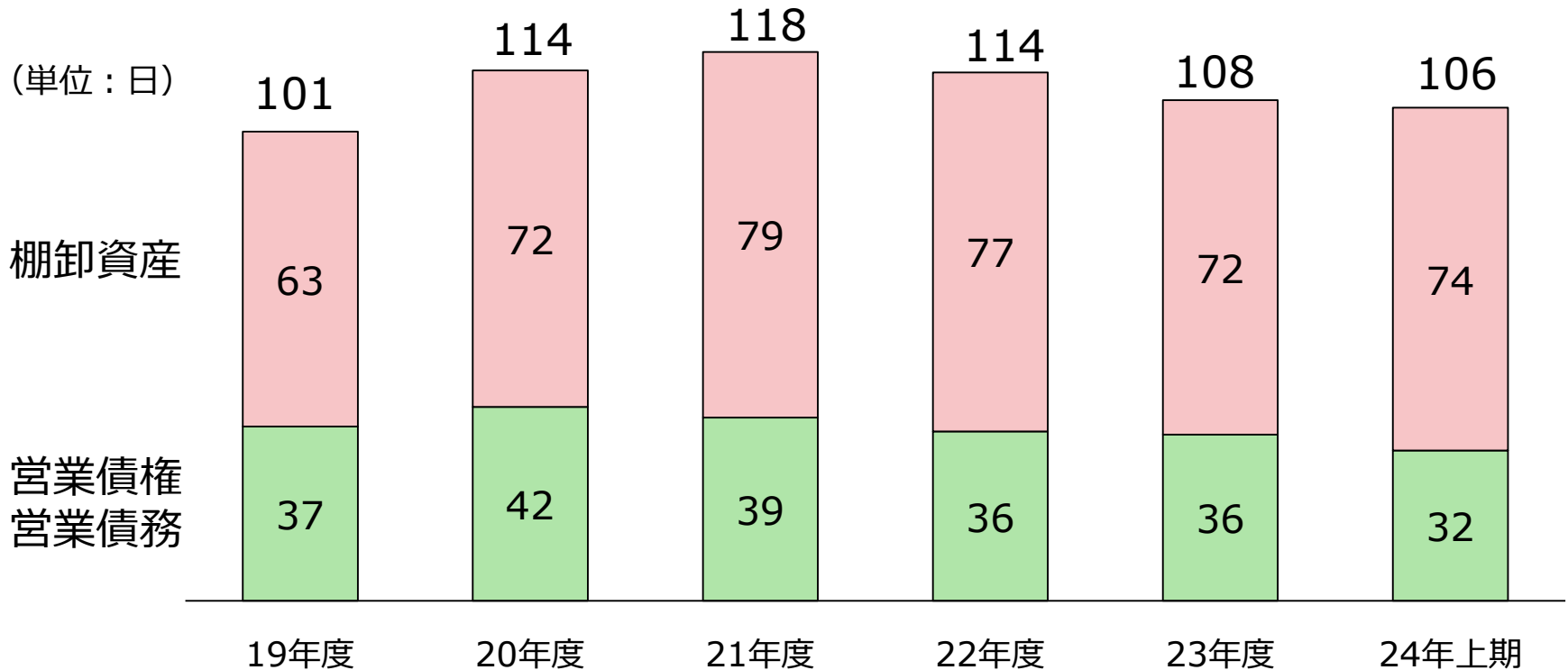
各銘柄の保有意義を従来以上に更に厳しく精査

子会社保有の純投資分も含めて3,000億円強（24年9月末）の残高があるが、今後数年のうちに少なくとも半減すべく、積極的に圧縮を進める

獲得するキャッシュは、将来の成長投資や株主還元を活用

# 5-1-2. 資産効率改善の取組み

## CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)



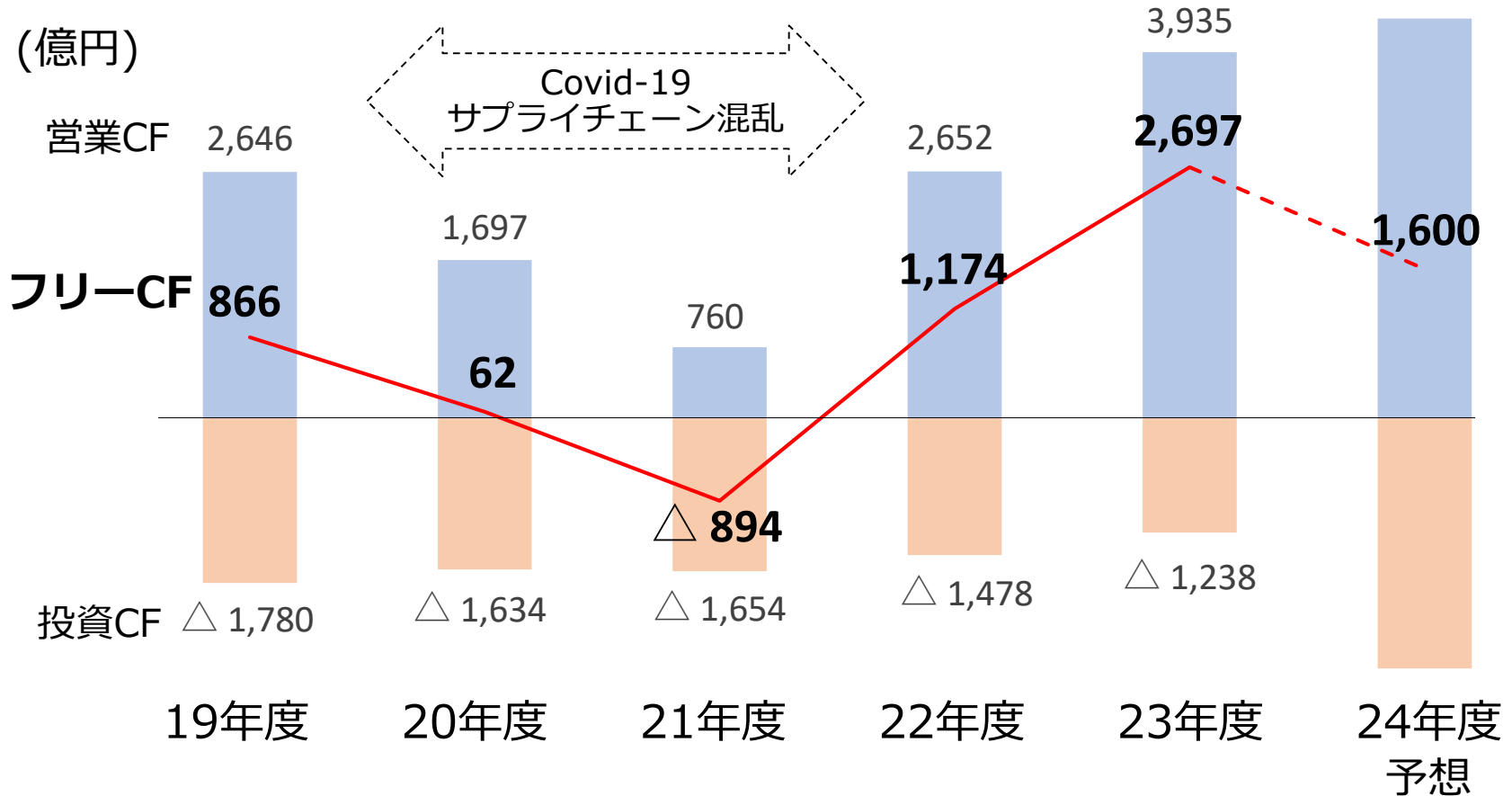
### 取組み事例

製造・調達リードタイム短縮  
債権債務サイトの交渉

DXを活用した在庫見える化  
取引先別ROIC分析

## 5-2. キャッシュ創出力向上

### フリーキャッシュフロー



収益力向上、資産効率改善の取組みを更に推し進め、  
フリーキャッシュフローの最大化を図る

## 5-2. キャッシュ創出力向上

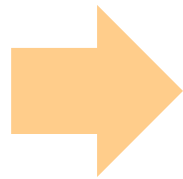
### キャッシュ創出力

#### EBITDD（営業利益＋減価償却＋研究開発）

Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Development

【中計目標】

3年累計 **1.6兆円**  
年平均 **5,333億円**



【23年度実績】

**5,749億円**

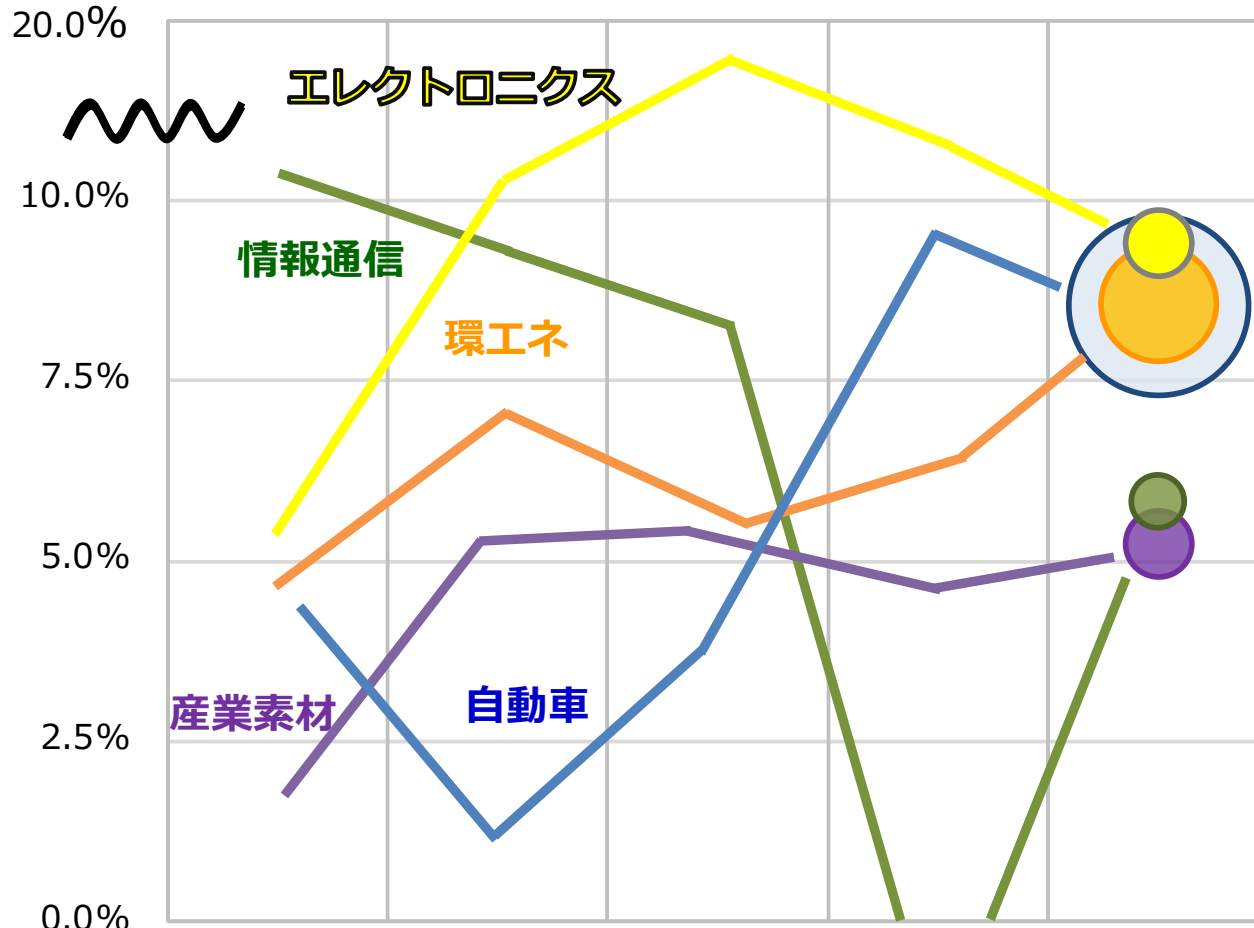
【24年度予想】

**6,200億円**

中計目標の 1.6兆円を上回るペースで進捗

# 5-3. セグメント別ROIC

※セグメント別は営業利益ROICを掲載  
 ※図の面積は売上高に比例

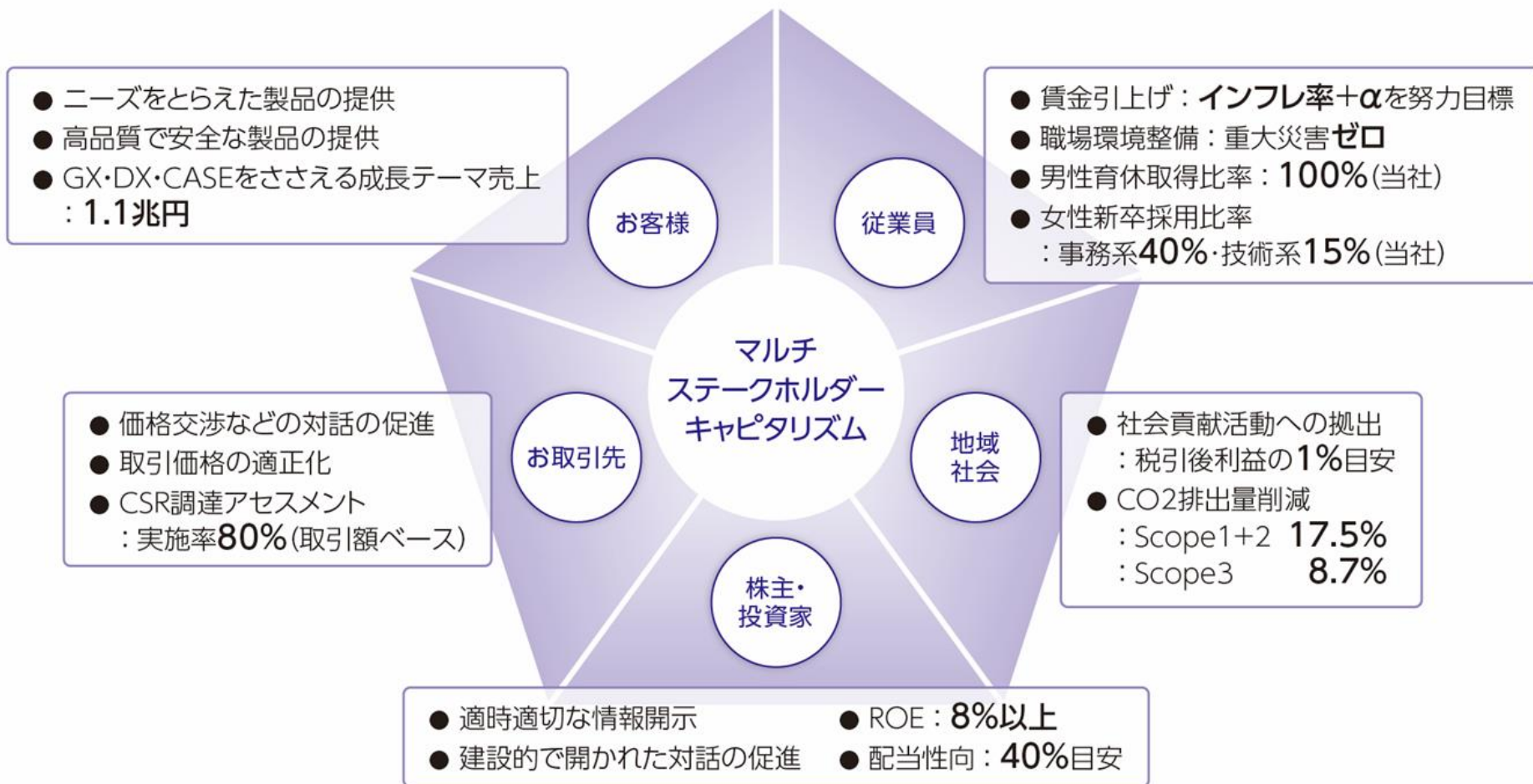


	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度予想	25年度目標
ROIC(営利)	4.6%	4.5%	5.9%	7.2%	7.9%	8%以上
ROIC(税前)	4.4%	5.8%	6.6%	7.6%	7.6%	8%以上
ROE	3.6%	5.7%	6.1%	7.3%	6.6%	8%以上

# 5-4. 五方よし (マルチステークホルダーキャピタリズム)

## 企業価値向上を果たし、その成果をステークホルダーの皆様と共有

売上高 4.4兆円	営業利益 2,500億円	税引前ROIC 8%以上	研究開発 3,600億円/3年	設備投資 7,200億円/3年
--------------	-----------------	-----------------	--------------------	--------------------

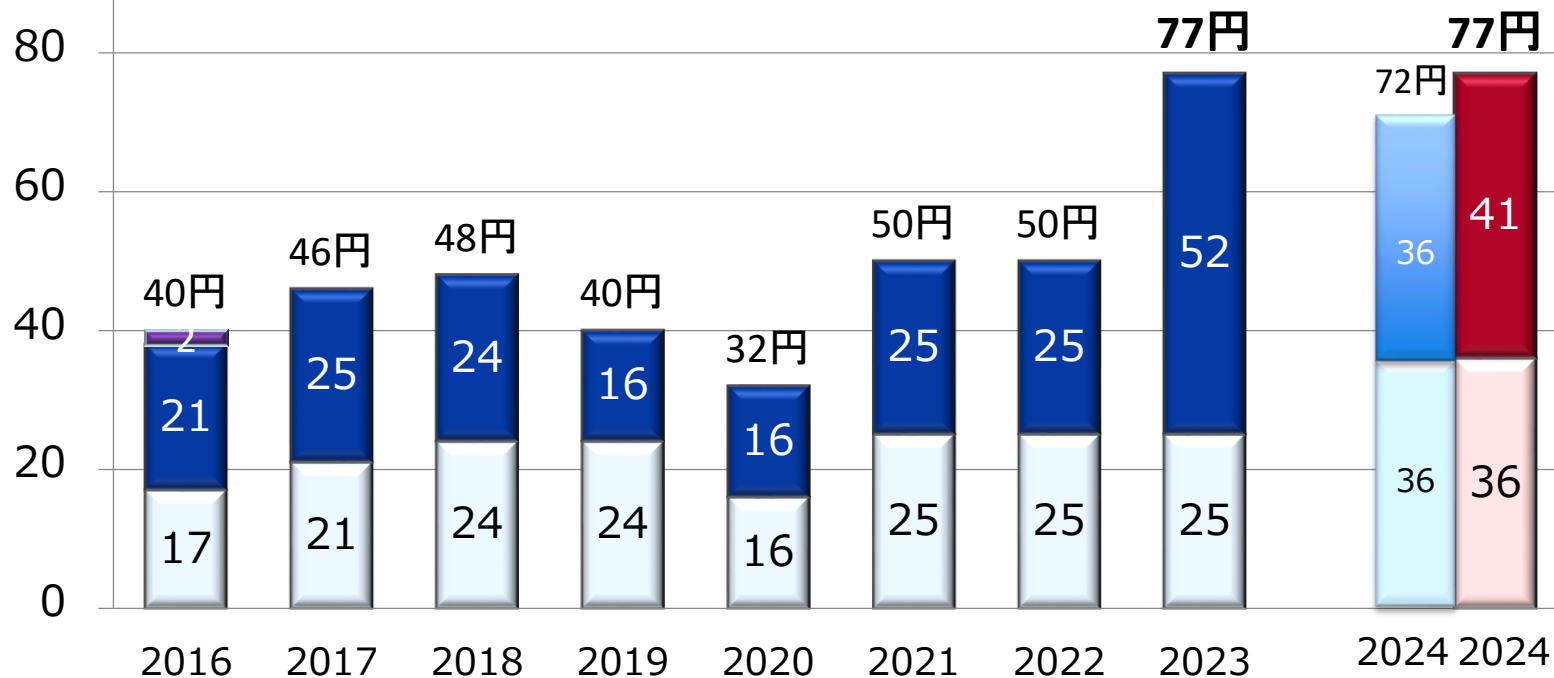




# 5-5. 株主還元・配当

(円/株) 100

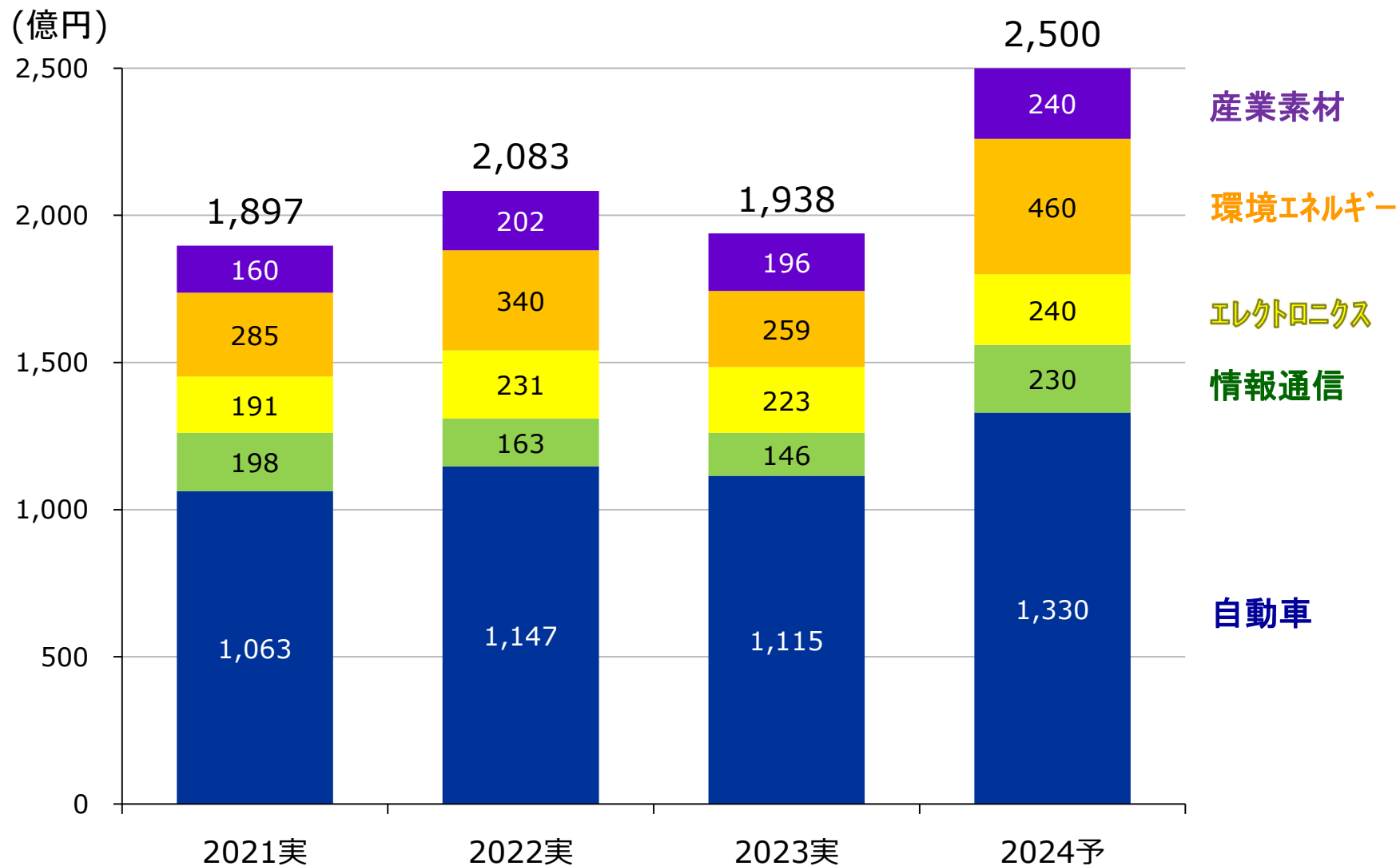
■ 中間配当金 ■ 期末配当金 ■ 記念配



1株当たり利益(円)	137.61	154.29	151.38	93.24	72.25	123.49	144.45	191.98		192.34
配当性向	29.1%	29.8%	31.7%	42.9%	44.3%	40.5%	34.6%	<b>40.1%</b>		<b>40.0%</b>

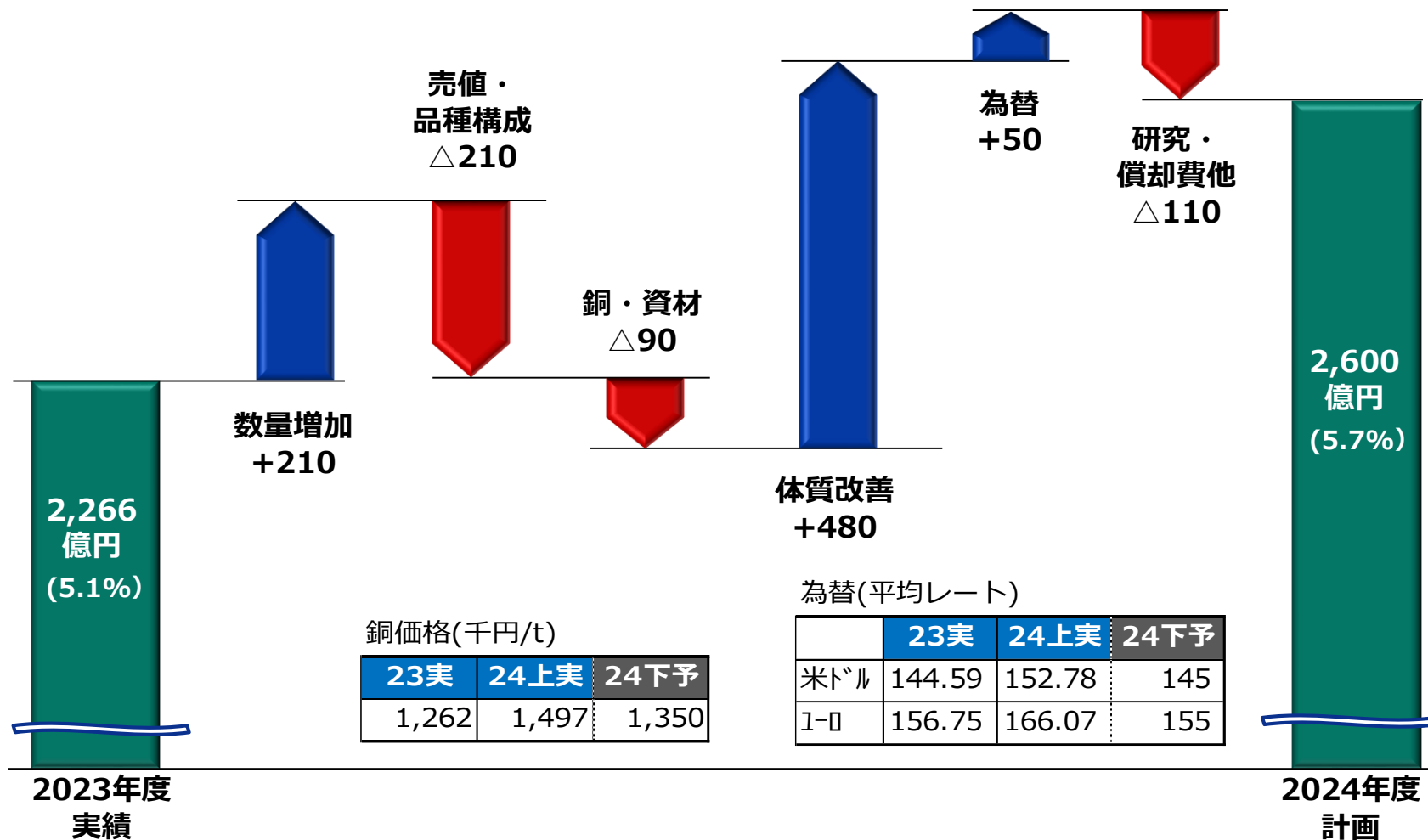
期初公表の72円/株を見直し、前期と同額となる77円/株へ上方修正

# (ご参考) 設備投資計画



# (ご参考) 営業利益の増減益要因

(%)は営業利益率



# (ご参考) 株価推移

## 当社株価推移(直近5年間)

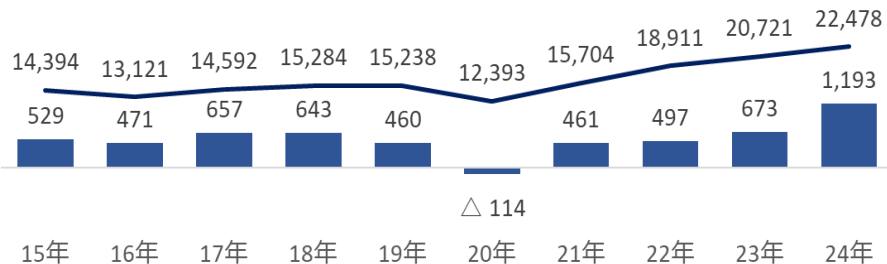
(円/株)



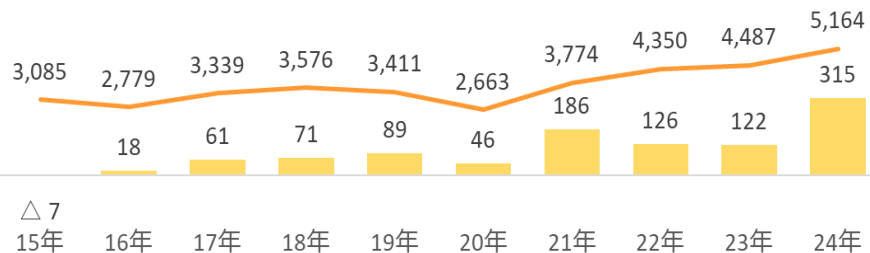
# (ご参考) 上期実績推移

折れ線:売上高 縦棒:営業利益 (単位:億円)

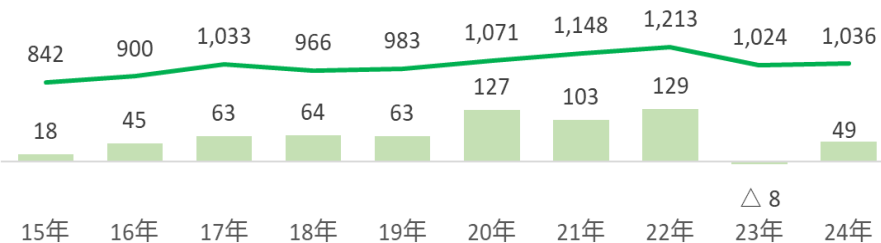
## 全社計



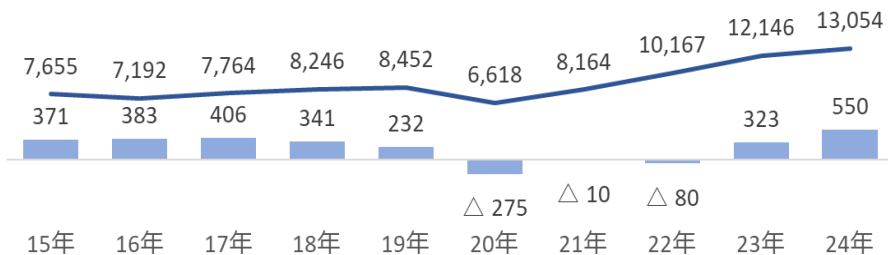
## 環境エネルギー



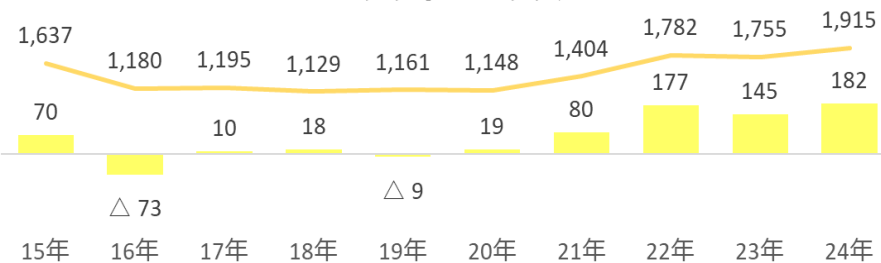
## 情報通信



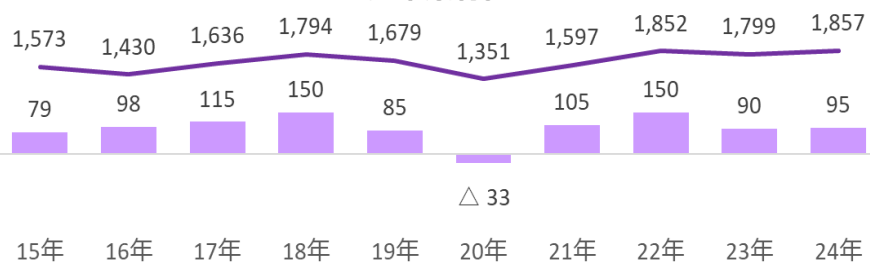
## 自動車



## エレクトロニクス



## 産業素材他



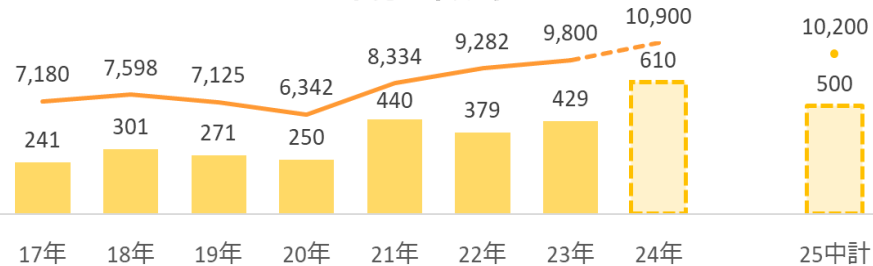
# (ご参考) 通期業績推移

折れ線:売上高 縦棒:営業利益 (単位:億円)

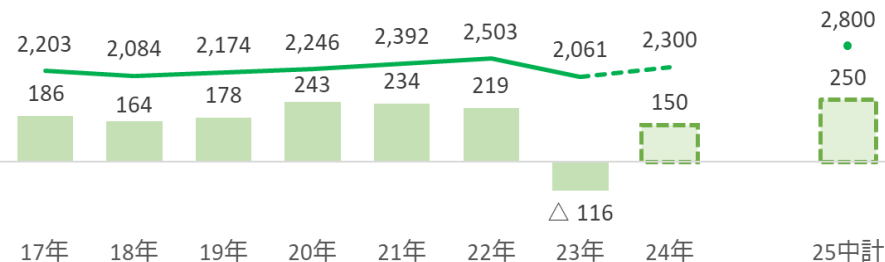
### 全社計



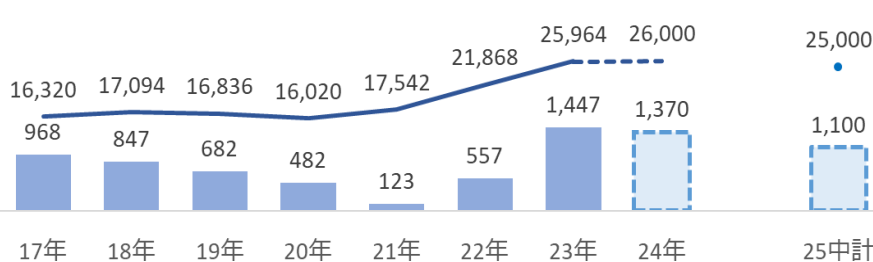
### 環境エネルギー



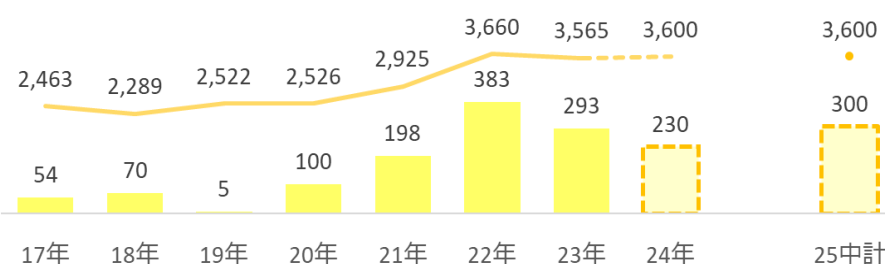
### 情報通信



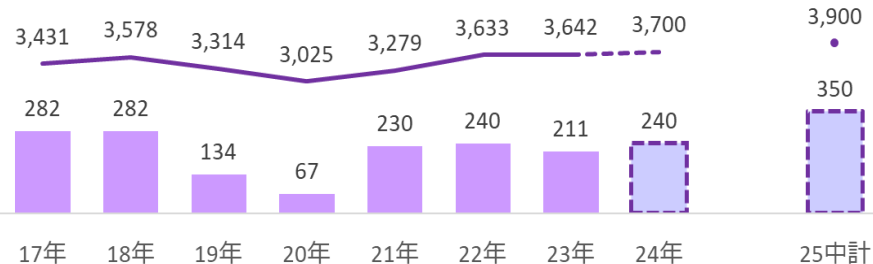
### 自動車



### エレクトロニクス



### 産業素材他



# 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・ 米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・ 急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・ 財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・ 諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・ 当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



**Connect with Innovation**

<https://sumitomelectric.com/jp/>